

市職員の給与などの状況

市職員の給与や職員数、服務などの状況を市民の皆さんに理解していただくため、国家公務員の給与と比較しながらその内容をお知らせします。

市職員の給与は、その職務と責任に応じて支給される給料と扶養・通勤手当などの諸手当から構成され、『登別市職員の給与に関する条例』に基づいて支給しています。

また、給与の改定は、国に準じて行っています（国の場合は、毎年度、人事院が国家公務員の給与を民間の給与水準と均衡させることを目的に行う勧告に基づき、改定が行われています）。

なお、国家公務員と地方公務員の給与水準を比較する際に用いられる『ラスパイレズ指数』は、国家公務員を100とした場合、登別市職員は平成18年4月1日現在で91・5（対前年度比0・9増）、全道35市中29位となっています。

◆職員人件費の状況（平成18年度全会計決算）（単位：万円）

住民基本台帳人口 (H19年3月31日現在)	人 件 費				
	給 料	期末・勤勉手当	左記以外の手当	共済費等	計
53,507人	19億9,064	8億1,382	8億855	7億1,097	43億2,398

※上記の人件費には、市長・副市長・教育長を含み、嘱託員・臨時職員、議員・各種委員は含まれていません。
※表示単位未満を四捨五入しています。

◆職員人件費の状況（平成19年度全会計予算）（単位：万円）

職員数	人 件 費					職員1人当 たり人件費
	給 料	期末・勤勉手当	左記以外の手当	共済費等	計	
493人	19億9,425	8億1,818	9億789	7億2,139	44億4,170	647

※上記の人件費には、市長・副市長・教育長を含み、嘱託員・臨時職員、議員・各種委員は含まれていません。
また、『職員1人当たり人件費』には退職手当、共済費等、市長・副市長の給与は含まれていません。
※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致していません。

◆嘱託員・臨時職員人件費の状況（単位：万円）

平成18年度全会計決算			平成19年度全会計予算		
給料・手当	社会保険	計	給料・手当	社会保険	計
4億4,949	5,684	5億633	4億8,029	6,268	5億4,297

※表示単位未満を四捨五入しています。

◆一般行政職の初任給と経験年数別平均給料月額（平成19年4月1日現在）

区 分	初 任 給		経験年数別平均給料月額		
	登別市	国	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
大 学 卒	164,754円	170,200円	257,800円	301,700円	378,200円
高 校 卒	133,972円	138,400円	231,500円	253,900円	345,600円

※『登別市』の初任給月額は、独自の給料削減後の月額。

◆平均給料月額と平均年齢（平成19年4月1日現在）

区 分	一般行政職	技能労務職
平均給料月額	335,386円	334,057円
平均給与月額	392,814円	370,880円
平均年齢	45歳7月	52歳0月

※給与月額＝給料＋諸手当。

◆期末・勤勉手当の支給割合（平成19年4月1日現在）

区分	登 別 市			国			備考
	期	1.4月分	勤 0.725月分	期	1.4月分	勤 0.725月分	
6月期							職務の級などによる加算措置あり
12月期	末	1.6月分	勉 0.725月分	末	1.6月分	勉 0.725月分	
計	4.45月分			4.45月分			

※期末・勤勉手当は、民間企業のボーナスに当たります。